

議会改革活性化特別委員会発足

笠間市議会では、開かれた議会運営を目指し、3月定例会において「議会改革活性化特別委員会」が設置されました。

第1回委員会では 正副委員長の選出、第2回委員会では 今後の検討課題について協議がされました。

検討課題

1. 一般質問における一問一答について
2. 議会中継のインターネット配信について
3. 議員定数について
4. その他、議会改革に関すること

今後の予定

1. 課題についての検討
2. 議会改革に関する講演会の実施
3. 先進市議会傍聴、視察の実施

委員紹介

委員長：西山 猛

副委員長：野口 圓

委員：小磯 節子、飯田 正憲、蛭澤 幸一、石松 俊雄、海老澤 勝
萩原 瑞子、横倉 きん、町田 征久、大関 久義、市村 博之



福島第二原子力発電所を視察

東日本大震災の津波は、原子力発電所の電源喪失に至る大きな災害となった。このような状況下、国・県での原子力防災計画の策定に伴い、笠間市の原子力防災計画、自主防災活動に反映することを目的に、5月8日、市長及び執行部と市議会による福島第二原子力発電所の復旧状況を視察した。

福島第二原発周辺の状況は、除染活動中の空き家が目立ち、田畑には、今でも黒い除染袋に包まれた表土等が置かれたままの状態となっている。

また、説明の中での、津波による被災状況、中央管理室のシミュレーションによる被災時の再現等は、危機感に溢れ、切羽詰った状況があり、改めて、放射線等が生活へ与える影響の甚大さを実感した。

今後、UPZ圏内である笠間市の防災計画へどう反映していくかが、課題になるであろうと思われる。

参加者：執行部から市長他13名、議会議員21名。

